

次世代人文社会学育成プログラム 平成24年度 夏学期 個人派遣 追加募集のお知らせ《PD・助教》

応募資格

- 1) 本研究科博士課程を修了あるいは単位取得満期退学したポスドク研究者。
- 2) 現在文学部・人文社会研究科に在職・在籍している助教・ポスドク研究者。
いずれも、原則として平成24年6月1日以降に出発可能な者*。
なお、このプログラムは平成25年2月28日が事業終了日となるので、原則として平成24年12月31日までに帰国しておく必要がある。
*ただし、年齢に関しては、原則として平成24年4月1日現在43歳未満の者に限る。

博士課程在学生の応募について

博士課程に在学中の者で、応募の時点で3年以上在学し所定の20単位を取得していれば、《PD・助教》に応募することが可能です。採用者は平成24年5月21日（月）までにメールで連絡します。採用されたら派遣時点で退学（単位取得満期退学）していただき、派遣期間中は人文社会系研究科附属次世代人文学開発センター萌芽部門次世代人文社会学育成プログラムの客員研究員（無給）として派遣先で研究することになります。なお、出発時期と授業料との関係があるので、PDで応募する場合は大学院係に必ず相談してください。

募集人数、期間

若干名 2か月（60日）以上7か月以内。原則として平成24年6月1日以降に出発可能な者。なお、このプログラムは、平成25年2月28日が事業終了日となるので、原則として平成24年12月31日までに帰国しておく必要があります。

派遣内容

海外の研究機関（1国のみ）に滞在し、研究を行う。これまでの研究業績に加えて、次世代人文社会学への貢献を重視する。すなわち、人文社会学に奥行きと広がりを与え、他の専門分野にも刺激を与えるような、意欲的な研究計画を優先する。

海外派遣のための渡航費（エコノミークラス航空券相当額）および滞在費を支給する。支給額は研究計画書等を考慮して本派遣プログラムで算定する。総額の上限1,000,000円：他の奨学金を受けず、往復の渡航費も本プログラムから支給され、欧米に7か月滞在する場合。

補足説明（プログラム・ホームページの概要・募集要項、Q&Aも必ず参照してください）

- ・宿泊先や航空券の手配等は、原則として各自で行ってもらいます。なお、乗継地での不必要な滞在は原則として認められません。また、採用決定後の大幅な研究・渡航計画の変更は採用の再審議の対象の可能性となりますので、申請時に立てた研究計画と大幅な違いが出ない様に申請時に研究計画をしっかりと立ててください。
- ・学費・研修費は支給されません。学費免除のある交流協定校を積極的に活用してください。
- ・他の研究資金（私費を含む）と併用してもかまいません。研究計画や他の研究資金の性格によっては渡航費や滞在費の支給に制限がありますので、応募に当たっては別紙「他の研究資金を併用

する場合の研究計画について」をよく読んでください。

- ・プログラムはInternational SOS社の医療アシスタンス・サービスと契約していますが、各自、派遣に際しては必ず海外旅行保険に加入しておいてください。
- ・PD枠に採用された応募者は、次世代人文社会開発センターの客員研究員（無給、任期期間は採用決定日から平成24年度末までとなります）として採用し、海外研修・調査の終了後は、その研究成果をもとに、コロキウム「博約文社」の運営および後輩のサポートにあたってもらいます。

派遣前後の義務

- (1) 「コロキウム博約文社」や新規派遣生のための説明会への参加
平成24年のコロキウムは12月（期日未定、土曜日を予定）に開催予定です。これまでの博約文社の概要についてはホームページを参照してください。
- (2) プログラム・ホームページへの研究成果の報告

提出書類

- ① 応募フォーム、② 履歴書、③ 研究計画書、④ 業績表

各デジタルファイル名に応募年度、氏名、書類名を含める事。例：H24年夏追加募集PD東京太郎応募F など。

研究計画書の書式は問わないが、以下の項目を含めること

- (1) 研究課題名（日本語および現地公用語）
- (2) 派遣を希望する研究機関名、スケジュール
- (3) これまでの研究業績の要約（特に、自分の専門分野における位置付け）
- (4) 派遣を通じて達成したい課題（特に、派遣希望先で研究を行う意義、関連諸分野との接点）

スケジュール作成にあたっての注意：派遣期間中の第三国における学会等での報告について

本プログラムでは派遣中の滞在国は1カ国に限るという原則で運営していますが、本プログラム経費による派遣期間中、研究活動に支障が出ない範囲内であれば学会等での発表のための第三国（＝派遣先以外の国）での短期滞在や日本への短期帰国を認めます。ただし、そのための経費の追加支給は認められません。また、PD・助教の場合、主要派遣国での滞在日数が通算して60日を下回らないことが条件となります。

学会報告が応募時点で確定している場合は必ず研究計画書に記してください。また、渡航計画作成後に決まった発表でも構いませんが、いずれにしても滞在国からの移動の前後に事務局にメール等でその旨を連絡する必要があります（連絡事項など詳細は、採用者に配布する「**渡航計画の作成要領**」を参照してください）。

このほか、派遣期間中、学会発表以外の理由で日本に一時帰国する必要があることもあろうかと思えます。その場合は、事前にプログラム事務局にメール等で相談してください。

応募にあたっての推薦

- ・PD枠に応募する場合：人文社会系研究科教員2名（専門分野は問いません）からの推薦を必要とします。応募者は研究計画書を推薦を依頼する教員2名に提出してください。教員は、研究計画書を確認の上で、推薦者となることを承諾するメールをプログラム事務局宛に送ってください（推薦状を作成してもらう必要はありません）。

2012. 4. 5

東京大学

大学院人文社会系研究科・文学部

- ・助教枠に応募する場合：研究室主任の承諾を得たうえで申し込んでください（推薦状を作成してもらう必要ありません）。

提出期限：電子ファイルにより、平成24年5月7日（月）11：00（厳守）

選考結果は5月21日（月）までに、大学院係より連絡します

提出・問合せ先：次世代人文社会学育成プログラム事務局（大学院係内）hakuyaku@l.u-tokyo.ac.jp

募集説明会：4月19日（木）17:00～18:00 会場：法文2号館3階 第3会議室

採用者説明会：日程が決まり次第、採用者に通知します